

# 日章学園中学校

## 学習・生活の手引き

### ONE TEAM !

本校の教育目標は「心豊かで勉学・スポーツに励み、心身ともに調和のとれた生徒の育成」。つまり**部活動と学習活動の両立**を図り、心身ともに調和のとれた品格ある生徒の育成を目指しています。

#### なぜ学習するのか？

(国語)人は言葉をつかって生活しています。物事を考えたり人に伝えたりするのは全て言葉を通して行なわれます。人の話を聞いたり、書物を読んだりすることは物の見方や考え方を深めます。また自分の考えを持ち、適切に話したり書いたりする力を身につけることは相手とのコミュニケーション能力を高め、生活をより良いものにします。

(社会)自分たちの地域や成り立ち、世界の中での日本の立場や現状をしっかりとつかみ(地理的分野)、それぞれの地域や国の文化を作ってきた歴史を知る(歴史的分野)。その上で今の政治や経済など世の中のしくみを学び(公民的分野)、より幸せな社会をつくることを目指し社会を支えていく人としての基礎を身につけていく勉強です。

(数学)数学的な考え方を身につけることは、いろいろなものの見方・考え方で物事をとらえ、実生活における利益・不利益を見つけ出し、合理的に問題を解決し、よりよく生活していく上で必要な力です。

(理科)疑問を科学的に解決していく過程を通して、基礎的な知識や技能だけでなく、観察力や表現力も身につきます。それらは社会に出てからも大いに役立ちます。自分を取り巻く環境を知り、現象を知ることで自然の偉大さを知り、自然環境の大切さを考えていきましょう。

(英語)世界の様々な人たちと話をしてみたいと思いませんか。そして、その生活や文化に触れてみたいと思いませんか。英語は、他の国の人たちとコミュニケーションをとったり、世界中の人々と助け合って生きていくために必要な言葉です。

## 学習のめあて

### 1・2年生

#### 計画的・継続的な学びを進める

##### ①学校・授業のプリントやノートを有効活用

学校で配られるプリントには、学習のポイントが整理されています。バラバラにならないようにきちんと整理して、活用することが大切です。

また、授業用のノートは、先生が書いたことを写すだけでなく、大事だと思ったことや疑問に思ったことのメモを残すことも重要です。

毎日の予習・復習はもちろん、テスト勉強の際にも見直して有効に活用しましょう。

##### ②問題を解いた後がもっとも大事

分からない時は、分かるところまで戻って解くことも大切です。間違ったところは必ず見直しをし、問題点をチェックしておきましょう。

### 3年生

#### 進路に向けて目標を明確にし取り組む

##### ①目指す進路を具体的に決めて、計画を立てる

目標がはっきりしないと具体的な計画は立てられません。自分が心から望むことは何なのか、目標実現のためには現在の自分に何が不足しているのかを明確にすることが大切です。そのためにも、進路について家庭でしっかり話し合きましょう。

##### ②生活リズムを整え、時間を有効に使う

自分の力を最大限に伸ばすために、生活リズムを整えましょう。睡眠不足では疲れがとれず、集中力も続きません。時間を有効に使い、家庭学習の時間を確保しましょう。

##### ③3年生の学習内容と12年生の復習を両立させる

通常・大会前・休みの日・長期休業中など、時期によって時間の使い方を工夫しましょう。

自分に合った学習方法を見つけ、工夫し、3年間のまとめの学習ができるようにしましょう。

## 保護者の方へ

### ～よりよい学習環境のために～

#### 登校時間について

- ・学校開錠は7:00です。安全のため、早く登校しすぎないようにご協力ください。
- ・8:40までに登校できない場合は、必ず学校に連絡してください。

#### 欠席・遅刻・早退等の連絡について

- ・保護者からの連絡が必要です。
- ・原則、学校電話(0985-62-5120)にお問い合わせします。緊急・時間外の場合にのみ担任の連絡先をお願いします。

#### 家庭学習について

- ・家庭での学習習慣を身に付けられるように取り組みますのでご協力をよろしくお願ひします。
- ・授業でしっかり理解できるよう内容の工夫を行っておりますので、宿題の量はあまり多くありません。出された宿題を完全に提出するよう、見届けをお願いします。
- ・各学級で宅習の指示があります。それぞれの学習段階に応じ、充実した内容で毎日提出するよう見届けをお願いします。

#### 早寝・早起き・朝ごはんについて

- ・毎日の学校生活・部活動で帰宅時間も遅くなる生徒がほとんどです。集中力・パフォーマンスを高めるためにも早寝・早起き・朝ごはんを!

#### 持ち物について

- ・基本的にお金を常備する必要はありません。学校の売店で購入したり、パンや弁当を購入するためにお金を持ってくる場合や、検定料・遠征費等の特別に指示があった場合のみ、必要な金額を持ってくることは可能です。また、通学の際の非常用に少額を準備することもあると思いますが、多額を持たせないようにしてください。
- ・携帯電話・スマホなどの持ち込み・利用方法については別途指示に従ってください。